参考２

平成30年3月1日
九州電力株式会社

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

〔kW〕

指示日時	平成30年2月28日（水） 16 時 7 分		
対象エリア	九州エリア　種子島		
出力制御期間	平成30年3月1日（木） 09時00分～16時00分		
出力制御指示を行った出力の合計	最大余剰電力発生時刻		13時
	出力制御必要量		1,820
	制御設備量※		2,544
最大余剰電力発生時点の予想需給状況	エリア需要予想		17,400
	発電出力合計		19,220
	内訳	水力	―
		火力（内燃力機最低出力）	9,000
		自然変動電源	10,220
		その他	―
その他	――――		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

以 上

平成30年3月6日
九州電力株式会社

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

〔kW〕

指示日時	平成30年3月5日（月） 16 時 02 分		
対象エリア	九州エリア　種子島		
出力制御期間	平成30年3月6日（火） 09時00分～16時00分		
出力制御指示を行った出力の合計	最大余剰電力発生時刻		13時
	出力制御必要量		980
	制御設備量※		1,759
最大余剰電力発生時点の予想需給状況	エリア需要予想		16,800
	発電出力合計		17,780
	内訳	水力	―
		火力（内燃力機最低出力）	9,000
		自然変動電源	8,780
		その他	―
その他	――――		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

以　上

平成30年3月9日
九州電力株式会社

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

〔kW〕

指示日時	平成30年3月8日（木） 16 時 13 分		
対象エリア	九州エリア　種子島		
出力制御期間	平成30年3月9日（金） 09時00分～16時00分		
出力制御指示を行った出力の合計	最大余剰電力発生時刻		13時
	出力制御必要量		2,790
	制御設備量※		3,317
最大余剰電力発生時点の予想需給状況	エリア需要予想		17,400
	発電出力合計		20,190
	内訳	水力	―
		火力（内燃力機最低出力）	9,000
		自然変動電源	11,190
		その他	―
その他	――――		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

以 上

平成30年3月12日
九州電力株式会社

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

〔kW〕

指示日時	平成30年3月9日（金） 16 時 01 分		
対象エリア	九州エリア　種子島		
出力制御期間	平成30年3月10日（土）09時00分～16時00分		
出力制御指示を行った出力の合計	最大余剰電力発生時刻		13時
	出力制御必要量		2,930
	制御設備量※		3,444
最大余剰電力発生時点の予想需給状況	エリア需要予想		16,800
	発電出力合計		19,730
	内訳	水力	―
		火力（内燃力機最低出力）	9,000
		自然変動電源	10,730
		その他	―
その他	――――		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

以　上

平成30年3月12日
九州電力株式会社

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

〔kW〕

指示日時	平成30年3月10日（土） 16 時 20 分		
対象エリア	九州エリア　種子島		
出力制御期間	平成30年3月11日（日） 09時00分～16時00分		
出力制御指示を行った出力の合計	最大余剰電力発生時刻		13時
	出力制御必要量		4,100
	制御設備量※		5,076
最大余剰電力発生時点の予想需給状況	エリア需要予想		15,600
	発電出力合計		19,700
	内訳	水力	―
		火力（内燃力機最低出力）	8,250
		自然変動電源	11,450
		その他	―
その他	――――		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

以 上

平成30年3月12日
九州電力株式会社

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

〔kW〕

指示日時	平成30年3月11日（日） 16 時 20 分		
対象エリア	九州エリア　種子島		
出力制御期間	平成30年3月12日（月） 09時00分～16時00分		
出力制御指示を行った出力の合計	最大余剰電力発生時刻		13時
	出力制御必要量		530
	制御設備量※		900
最大余剰電力発生時点の予想需給状況	エリア需要予想		16,200
	発電出力合計		16,730
	内訳	水力	―
		火力（内燃力機最低出力）	8,250
		自然変動電源	8,480
		その他	―
その他	――――		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

以 上

平成30年3月13日
九州電力株式会社

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

〔kW〕

指示日時	平成30年3月12日（月） 16 時 20 分		
対象エリア	九州エリア　種子島		
出力制御期間	平成30年3月13日（火） 09時00分～16時00分		
出力制御指示を行った出力の合計	最大余剰電力発生時刻		12時
	出力制御必要量		1,890
	制御設備量※		2,544
最大余剰電力発生時点の予想需給状況	エリア需要予想		16,100
	発電出力合計		17,990
	内訳	水力	―
		火力（内燃力機最低出力）	8,250
		自然変動電源	9,740
		その他	―
その他	――――		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

以　上

平成30年3月14日
九州電力株式会社

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

〔kW〕

指示日時	平成30年3月13日（火） 16 時 22 分		
対象エリア	九州エリア　種子島		
出力制御期間	平成30年3月14日（水） 09時00分～16時00分		
出力制御指示を行った出力の合計	最大余剰電力発生時刻		13時
	出力制御必要量		3,270
	制御設備量※		4,390
最大余剰電力発生時点の予想需給状況	エリア需要予想		15,900
	発電出力合計		19,170
	内訳	水力	―
		火力（内燃力機最低出力）	8,250
		自然変動電源	10,920
		その他	―
その他	――――		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

以 上

平成30年3月19日
九州電力株式会社

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

〔kW〕

指示日時	平成30年3月16日（金） 16 時 20 分		
対象エリア	九州エリア　　種子島		
出力制御期間	平成30年3月17日（土） 09時00分～16時00分		
出力制御指示を行った出力の合計	最大余剰電力発生時刻		14時
	出力制御必要量		860
	制御設備量※		1,586
最大余剰電力発生時点の予想需給状況	エリア需要予想		15,600
	発電出力合計		16,460
	内訳	水力	―
		火力（内燃力機最低出力）	8,250
		自然変動電源	8,210
		その他	―
その他	――――		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

以　上

平成30年3月22日
九州電力株式会社

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

〔kW〕

指示日時	平成30年3月21日（水） 15 時 58 分		
対象エリア	九州エリア　種子島		
出力制御期間	平成30年3月22日（木） 09時00分～16時00分		
出力制御指示を行った出力の合計	最大余剰電力発生時刻		14時
	出力制御必要量		150
	制御設備量※		750
最大余剰電力発生時点の予想需給状況	エリア需要予想		16,400
	発電出力合計		16,550
	内訳	水力	―
		火力（内燃力機最低出力）	9,000
		自然変動電源	7,550
		その他	―
その他	――――		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

以　上

平成30年3月23日
九州電力株式会社

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

〔kW〕

指示日時	平成30年3月22日（木） 16 時 00 分		
対象エリア	九州エリア　種子島		
出力制御期間	平成30年3月23日（金） 09時00分～16時00分		
出力制御指示を行った出力の合計	最大余剰電力発生時刻		13時
	出力制御必要量		1,420
	制御設備量※		2,454
最大余剰電力発生時点の予想需給状況	エリア需要予想		15,900
	発電出力合計		17,320
	内訳	水力	―
		火力（内燃力機最低出力）	8,250
		自然変動電源	9,070
		その他	―
その他	――――		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

以　上

平成30年3月26日
九州電力株式会社

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

〔kW〕

指示日時	平成30年3月23日（金） 16 時 00 分		
対象エリア	九州エリア　　種子島		
出力制御期間	平成30年3月24日（土） 09時00分～16時00分		
出力制御指示を行った出力の合計	最大余剰電力発生時刻		13時
	出力制御必要量		4,520
	制御設備量※		5,316
最大余剰電力発生時点の予想需給状況	エリア需要予想		15,700
	発電出力合計		20,220
	内訳	水力	―
		火力（内燃力機最低出力）	8,250
		自然変動電源	11,970
		その他	―
その他	――――		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

以　上

平成30年3月26日
九州電力株式会社

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

〔kW〕

指示日時	平成30年3月24日（土） 16 時 03 分		
対象エリア	九州エリア　種子島		
出力制御期間	平成30年3月25日（日） 09時00分～16時00分		
出力制御指示を行った出力の合計	最大余剰電力発生時刻		14時
	出力制御必要量		2,180
	制御設備量※		4,303
最大余剰電力発生時点の予想需給状況	エリア需要予想		15,500
	発電出力合計		17,680
	内訳	水力	―
		火力（内燃力機最低出力）	8,250
		自然変動電源	9,430
		その他	―
その他	――――		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

以　上

平成30年3月26日
九州電力株式会社

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

〔kW〕

指示日時	平成30年3月25日（日） 16 時 00 分		
対象エリア	九州エリア　種子島		
出力制御期間	平成30年3月26日（月） 09時00分～16時00分		
出力制御指示を行った出力の合計	最大余剰電力発生時刻		13時
	出力制御必要量		1,560
	制御設備量※		2,631
最大余剰電力発生時点の予想需給状況	エリア需要予想		15,600
	発電出力合計		17,160
	内訳	水力	―
		火力（内燃力機最低出力）	8,250
		自然変動電源	8,910
		その他	―
その他	――――		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

以 上

平成30年3月27日
九州電力株式会社

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

〔kW〕

指示日時	平成30年3月26日（月） 15 時 56 分		
対象エリア	九州エリア　種子島		
出力制御期間	平成30年3月27日（火） 09時00分～16時00分		
出力制御指示を行った出力の合計	最大余剰電力発生時刻		13時
	出力制御必要量		1,250
	制御設備量※		2,336
最大余剰電力発生時点の予想需給状況	エリア需要予想		15,600
	発電出力合計		16,850
	内訳	水力	―
		火力（内燃力機最低出力）	8,250
		自然変動電源	8,600
		その他	―
その他	――――		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

以 上

平成30年3月28日
九州電力株式会社

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

〔kW〕

指示日時	平成30年3月27日（火） 15 時 54 分		
対象エリア	九州エリア　種子島		
出力制御期間	平成30年3月28日（水） 09時00分～16時00分		
出力制御指示を行った出力の合計	最大余剰電力発生時刻		13時
	出力制御必要量		1,730
	制御設備量※		3,553
最大余剰電力発生時点の予想需給状況	エリア需要予想		15,500
	発電出力合計		17,230
	内訳	水力	―
		火力（内燃力機最低出力）	8,250
		自然変動電源	8,980
		その他	―
その他	――――		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

以 上

平成30年3月29日
九州電力株式会社

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

〔kW〕

指示日時	平成30年3月28日（水） 15 時 57 分		
対象エリア	九州エリア　種子島		
出力制御期間	平成30年3月29日（木） 09時00分～16時00分		
出力制御指示を行った出力の合計	最大余剰電力発生時刻		13時
	出力制御必要量		3,830
	制御設備量※		4,217
最大余剰電力発生時点の予想需給状況	エリア需要予想		15,500
	発電出力合計		19,330
	内訳	水力	―
		火力（内燃力機最低出力）	8,250
		自然変動電源	11,080
		その他	―
その他	――――		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

以　上

平成30年3月30日
九州電力株式会社

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

〔kW〕

指示日時	平成30年3月29日（木） 15 時 54 分		
対象エリア	九州エリア　種子島		
出力制御期間	平成30年3月30日（金） 09時00分～16時00分		
出力制御指示を行った出力の合計	最大余剰電力発生時刻		13時
	出力制御必要量		1,130
	制御設備量※		1,644
最大余剰電力発生時点の予想需給状況	エリア需要予想		15,500
	発電出力合計		16,630
	内訳	水力	―
		火力（内燃力機最低出力）	8,250
		自然変動電源	8,380
		その他	―
その他	――――		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

以 上

平成30年4月2日
九州電力株式会社

『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

〔kW〕

指示日時	平成30年3月30日（金） 16 時 08 分		
対象エリア	九州エリア　種子島		
出力制御期間	平成30年3月31日（土） 09時00分～16時00分		
出力制御指示を行った出力の合計	最大余剰電力発生時刻		12時
	出力制御必要量		1,830
	制御設備量※		3,296
最大余剰電力発生時点の予想需給状況	エリア需要予想		15,200
	発電出力合計		17,030
	内訳	水力	―
		火力（内燃力機最低出力）	8,250
		自然変動電源	8,780
		その他	―
その他	――――		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

以 上